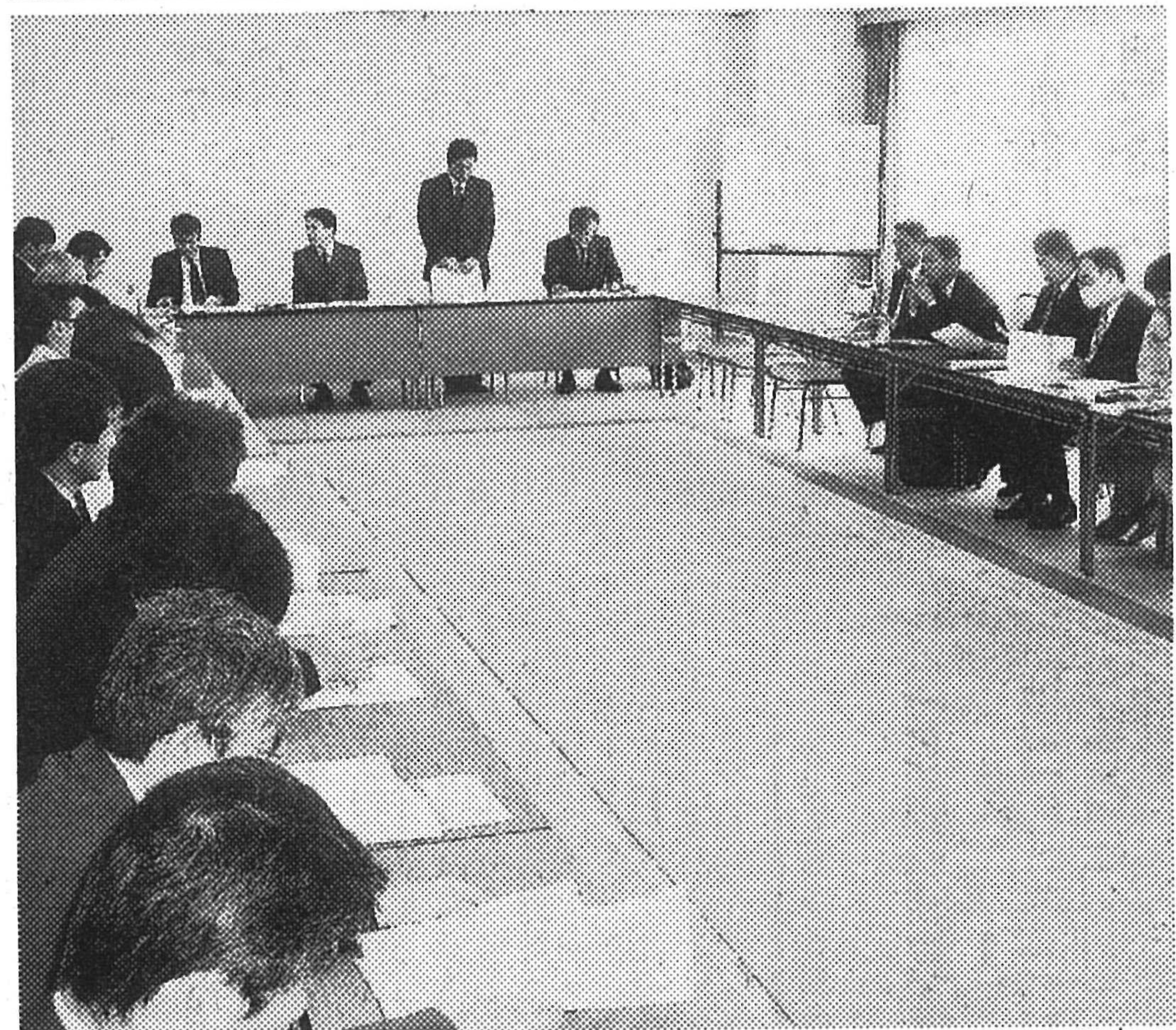


社会的地位の向上を

県コンクリート診断士会総会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は28日、県職員会館で定期総会を開き、09年度事業計画などを決議した。



09年度事業計画案などを審議した総会

冒頭、石川会長は「会が発足し5年たった。会員も増え少しずつ規模が大きくなっている。これまでの活動を振り返ると、会の認知度は向上しており、その成果も目に見える形で出てきているが、社会的地位は発展途上にある」と指摘したうえで、社会的地位向上を図るためには「コンクリート診断士としての資質・技術を高めるとともに、存在意識を伝えていくことが重要。しっかりと学び、しっかり伝えることを念頭に活動していただく」と呼びかけた。

続いて08年度事業・収支決算報告および09年度事業計画案・収支予算案などを審議、承認した。09年度活動方針では▽研修会の充実▽福井診断士会のブランドの発信▽官公庁、他機関との連携—などに取り組む。また、総会後は研修会を開き、最新技術によるコンクリートのひび割れ対策について学んだ。